

## 患者さんへ ～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名 排尿自立に至った脳卒中患者に対して急性期から背面開放座位を実施した症例検討』

### 【研究の目的】

東邦大学医療センター大橋病院 5A 病棟では、排尿自立に至った脳卒中患者に対して急性期から背面開放座位を実施した症例検討を目的として本研究を計画しました。

この研究で得られる成果は、脳卒中を発症し、尿を溜めたり出したりする信号がうまく伝えることができなくなった状態（以下、神経因性下部尿路機能障害）にある患者への看護の充実・有効なケアの提供につながります。



### 背面開放座位とは・・・

副交感神経が低下し、交感神経が亢進することで  
大脳に影響し、覚醒度を上昇させます。

### 【研究対象および方法】

この研究は、東邦大学医療センター大橋病院倫理委員会の承認を得て実施するものです。

2019年8月～2019年10月までに東邦大学医療センター大橋病院5A病棟において、脳卒中の診断を受け、神経因性下部尿路機能障害が出現した患者さんを対象として、診療録（カルテ）から抽出した臨床データを解析します。

今回の研究で得られた成果を、病院内の看護研究会にて結果報告を開示します。医学的な専門学会や専門雑誌等で報告する可能性があります。個人を特定できるような情報が外部に漏れることは一切ありません。

本研究に関してご質問のある方、診療情報等を研究に利用することを承諾されない方は、下記までご連絡下さい。

### 【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大橋病院 5A 病棟

職位・氏名 看護師 小又優香子

電話 03-3468-1251 内線 3512